

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 12040001

政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	8	子育て・子育ての充実	事業優先度	A		
単位施策	2	「子育て」支援の強化	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	学校給食子育て支援事業		見直し年度			
事業期間	平成27年度～平成29年度		担当課	12 教育委員会教育振興課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	支給対象者数(世帯数、支給対象児童・生徒数)		関係課	#N/A		
事業目標	支給対象者への完全支給		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
住民参加	無		関係例規・法令名	有 雄武町子育て支援学校給食費助成金交付要綱		
住民協働			関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	●児童・生徒の保護者に対する学校給食費の助成支援 平成27・28年度：半額助成 平成29年度：全額助成			学校給食費の助成支援(半額) ・小学生189人 ・中学生107人	学校給食費の助成支援(半額) ・小学生189人 ・中学生107人 制度拡充について検討	学校給食費の助成支援(全額) ・小学生 185人 ・中学生 95人	
	事業費(千円)	28,860	0	7,425	7,425	14,010	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	7,500				7,500	
一般財源	21,360			7,425	7,425	6,510	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	26,871	0	6,912	6,729	13,230	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	7,500					7,500	
一般財源	19,371			6,912	6,729	5,730	
特定財源の名称 ふるさと応援基金繰入金	【評価・実績】	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
		※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/拡充	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	
				201世帯、296人	201世帯、296人	187世帯、280人	
	前期計画からの継続	年度目標値	#DIV/0!	#DIV/0!	93%	91%	94%
	第6期計画への継続	年度達成率	0%	0%	24%	47%	93%
	全体達成率						
	備考欄						

事業名	学校給食子育て支援事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	新谷 朋人
		評価者 作成者 職氏名	教育振興課長補佐	石山 英伸

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町内小中学校に通う児童・生徒の保護者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	助成対象世帯(保護者)数								
【抱える課題やニーズは】	少子化対策及び子育て支援については、児童福祉・医療の分野において各種施策が実施されているが、学校教育の分野においても更なる施策の充実が求められている。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	学校給食費保護者負担金について町が助成を行うことにより、子育てに係る保護者の負担感を軽減し、安心して子育てできる環境づくりに寄与する。	① 助成対象世帯(保護者)数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>201人</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>201人</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	201人	実績値	201人	達成度	100.0%
目標年度	平成29年度										
目標値	201人										
実績値	201人										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	他の支援制度と併せて本事業を実施することにより、保護者のより一層の負担軽減が図られ、安心して子育てできる環境が創造されるとともに、出産増等による少子化対策も図られる。	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成29年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>〇〇</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0!%</td></tr> </table>	目標年度	平成29年度	目標値	〇〇	実績値	〇〇	達成度	#DIV/0!%
目標年度	平成29年度										
目標値	〇〇										
実績値	〇〇										
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	保護者に対する学校給食費負担の軽減	保護者が納入すべき学校給食費負担金の全額を助成した。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	総合計画の基本施策において「子育て・子育ての充実」と「学校教育の充実」が掲げられていることに加え、町長公約に掲げる重要政策においても「出産・子育てと高齢者の夢を叶える大胆な経済支援」が挙げられていることから、町の方針に合致する事業である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	助成対象となる全ての保護者に助成を行い、事業目標を達成した。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	学校給食費保護者負担金に対する定率の補助であることから、過度なコストは生じていない。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

概ね公平	判断の理由	助成対象は児童生徒の保護者に限定されるが、人口減少・少子化対策はまちの将来に関わる重要な施策であることから、概ね公平と判断した。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
助成対象となる全ての保護者に助成を行い、事業目標を達成した。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
町の方針に合致する事業であることから今後も継続し、安心して子育てできる環境づくりの創造を目指す。また、町長の所信表明における施策内容を踏まえ、平成29年度から制度を拡充したが、引き続き継続する。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止